



「学力テスト」の民間委託で 個人情報を守れるか？



「全国一斉学力テスト」が4月24日に行われます。犬山市のように不参加を決定した自治体もありますが、ほとんどの自治体が参加します。私はこの「全国一斉学力テスト」について、「大垣市の場合は県及び大垣市独自の学力テストを行っており、更に全国一斉学力テストを行うのは、教師・生徒に過大な負担となり不必要ではないか」と12月議会で取り上げました。今回、この学力テストと一緒に「家庭環境調査」が行われ、組・出席番号・名前を記入し個人が特定でき、個人情報保護の点から問題と指摘されています。

大垣市議会議員 笹田トヨ子

害あって益なしの 「全国一斉学力テスト」

東京都では学校選択制と学力テストをセットで行い、学校毎に点数をインターネットで公表しています。その結果、学校の序列化ができてしまい、競争激化で子ども達に過度のストレスを引き起こしているといわれています。学力テストにむけて補習授業を行い、「過去問」を何回か生徒にやらせたとか、点数を引き下げる子がテストの日には休んだとか、教師や子どもにとって大きな負担になっています。

今回の「全国一斉学力テスト」は東京都のように学校選択制とセットになっているわけではありませんが、テストの結果の公表などにより、教師等関係者のプレッシャーは大きくなります。国の学習指導要領の定着を見るのであれば、全員の子どもを対象にする必要はなく、抽出で行えばいいわけです。「全国一斉学力テスト」は害あって益なしです。

笹田トヨ子議員は12月議会で、「学力テストを（国、県、市の）3回も行う必要はないのではないかと指摘し、「東京都のようにテストの結果を公表し学校間格差を生み出しているが大垣市はどうするのか」と質問しました。それに対して教育長は「テスト結果の公表については慎重に行う」と答弁しました。

「家庭環境調査」を同時実施

今回の「全国一斉学力テスト」では、教科テストと一緒に「家庭環境調査」がおこなわれます。そして、教科テスト用紙にも、家庭環境調査用紙にも「組」「出席番号」「名前」を記入し、学校ごとにとりまとめます。家庭環境調査の質問内容は「朝食を食べているか」「1日に見るテレビの時間」「家にある本の数」「1週間に塾に通う時間」「家にコンピュータはあるか」「自分は家の人から大切にされているか」「先生から認められているか」など92項目の質問に答えるものです。（裏面に一部掲載）

民間業者に委託、 個人情報保護に問題あり

「組」「出席番号」「名前」の記入は「特定の個人を識別することができる情報」にあたります。この「家庭環境調査」の解答用紙の集計を小学校はベネッセコーポレーション（株）に、また中学校はNTTデータ（株）に委託することが、文部科学省の通知で明らかになっています。ベネッセコーポレーションは受験企業で「学力検査のための予備テスト」を販売しているとか・・・。

大垣市には「個人情報保護条例」があります。今回の学力テストの取り扱い、この条例に抵触するのではないのでしょうか。

「全国一斉学力テスト」 不参加を大垣市に求める・・・ 新婦人の会大垣支部

3月26日、新婦人の会大垣支部は、「全国一斉学力テスト」の実施に当たり、大垣市教育委員会に対して、学力テストに参加しない方向で検討するよう申し入れました。また、参加する場合でも、全国学力テストの結果を公表しない事、回答用紙への氏名記入をやめさせるよう要望しました。

